

みどりの市首地下鉄開業

西界線

名谷

新長田



神戸市交通局



楽しい駅



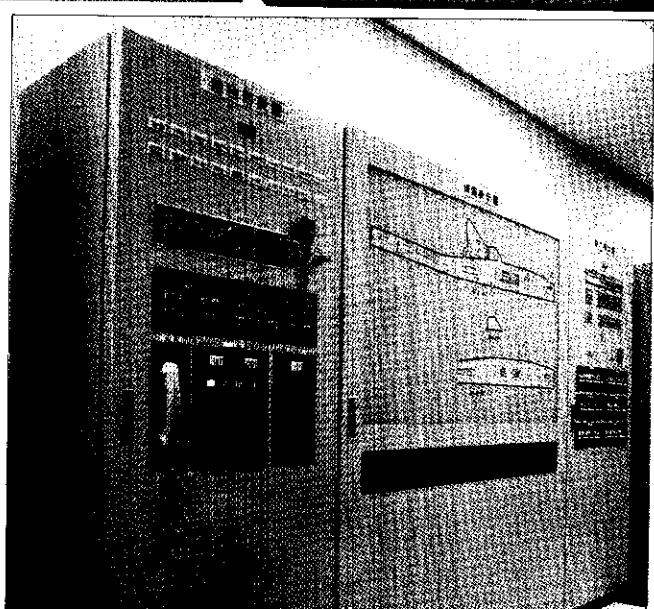
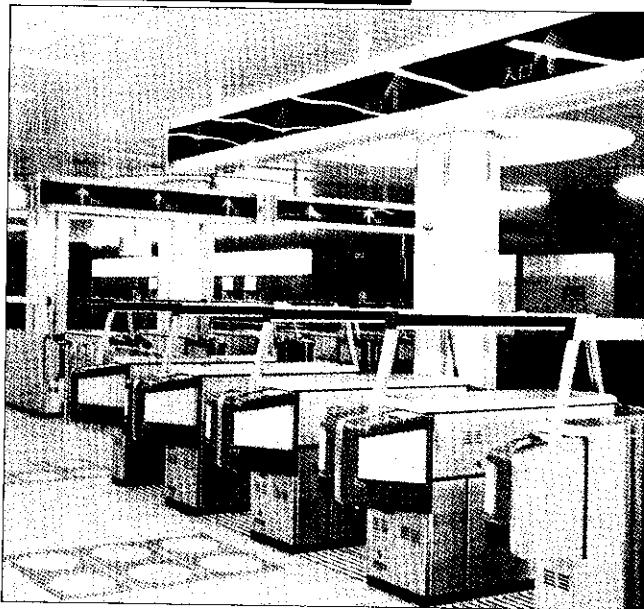
ユニークな駅



判りやすい駅

変わるもの……それは科学技術
変わらないもの……それは人の心
豊かな人間性をもつた技術の枠を
傾けた“21世紀の都市の装置”
それが「みどりの市営地下鉄」です

安全な駅





トピックス

起工式

「地下鉄建設が市民にとって安全、迅速、快適な『足』となることを期待します」—宮崎市長のあいさつ。地下鉄の幕明けを告げる起工式が47年11月25日、国鉄新長田駅南側広場で行われました。



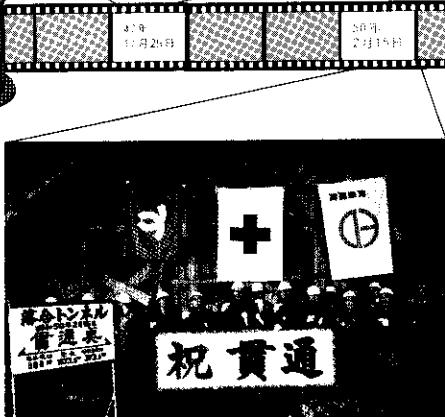
横尾トンネル貫通

全長1,800㍍の横尾トンネルが、50年5月24日、着工以来2年1ヶ月ぶりに貫通。1000分の29という急勾配で土砂の搬出に手間どるなど難工事が続きました。



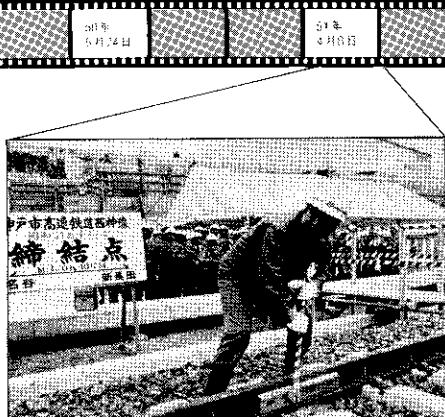
全車勢ぞろい

1号車にひき続き川崎重工兵庫工場で建造中だった残り車両5編成20両が完成。無事搬入も終わり51年6月25日、24両が名谷ヤードに勢ぞろいしました。



妙法寺、名谷両側から着手された落合トンネルが、50年2月15日貫通。妙法寺付近は粘土層と花こう岩の接点に当たる断層地帯でくずれやすく、特殊工法の採用など工事が難航しました。

落合トンネル貫通



1年がかりで進められていた線路敷設作業が完了。51年4月8日、レール締結式が名谷駅東185㍍の地点で行われ、最後の継ぎ目が黄金ボルトとナットでがっちりと結ばされました。

レール締結

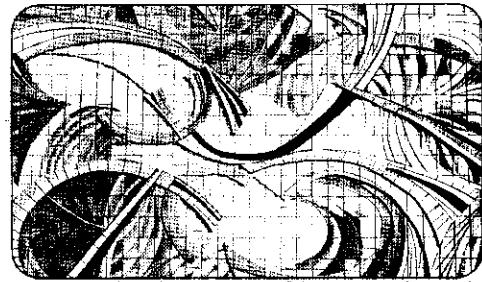


51年8月6日、待望の全線試運転開始。名谷ヤードを出発した4両編成の「みどりの地下鉄」は初の本線乗り入れ。ゆっくりしたスピードで無事、新長田駅まで完走しました。

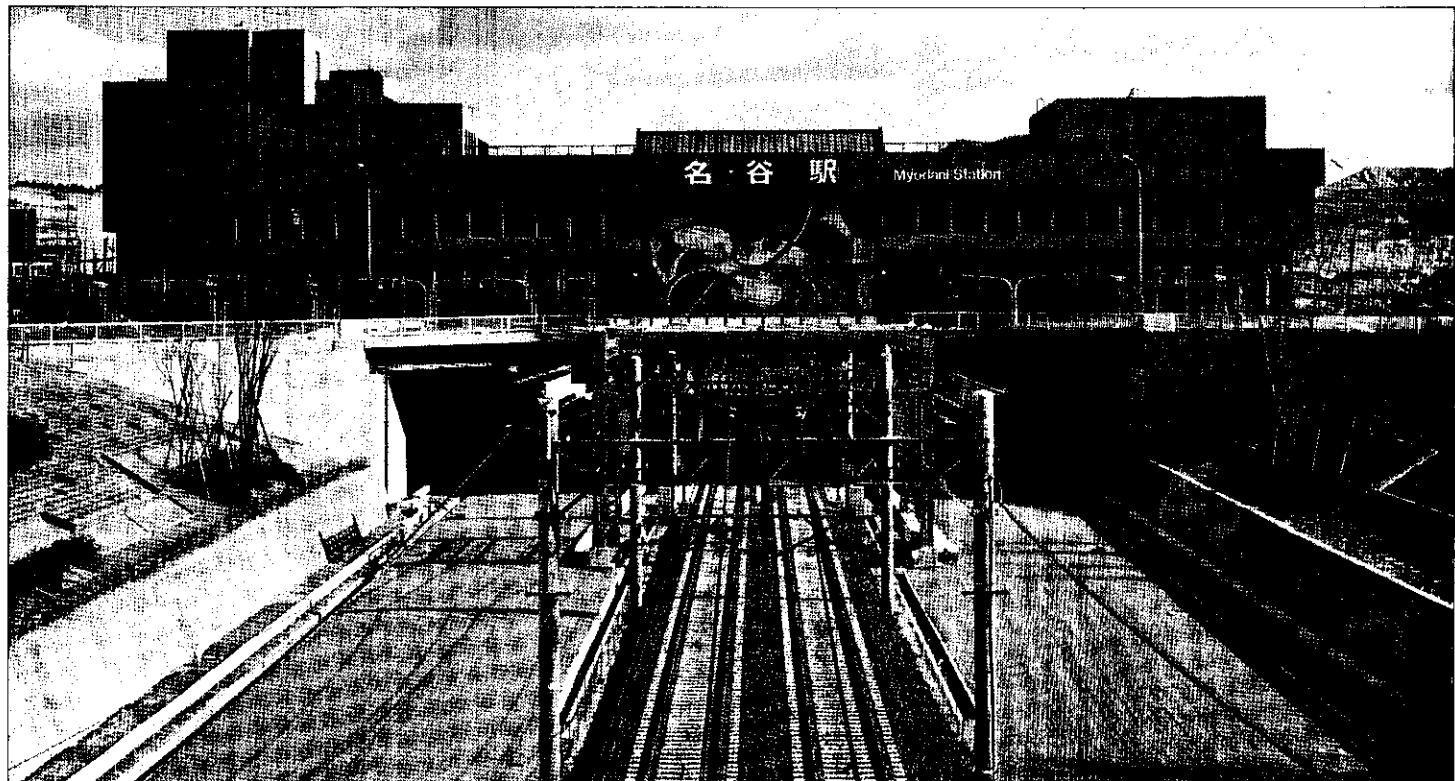
全線試運転始まる

名 谷

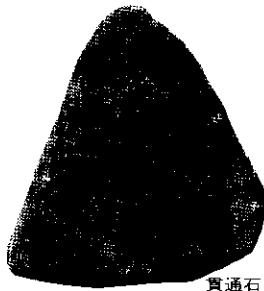
希望あふれる “春の駅”



清水焼のレリーフ「春の風」河合 紀作
(8×15m)



将来の発展へ希望
あふれるニュータウ
ンの玄関口にふさわ
しく、駅舎正面には
陶板レリーフ“春の
風”がそよぎ、構内
両サイドの斜面植込
みには、春咲く花木
類8種、13,000本が植樹されています。

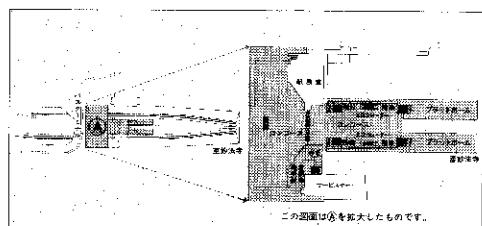


貫通石

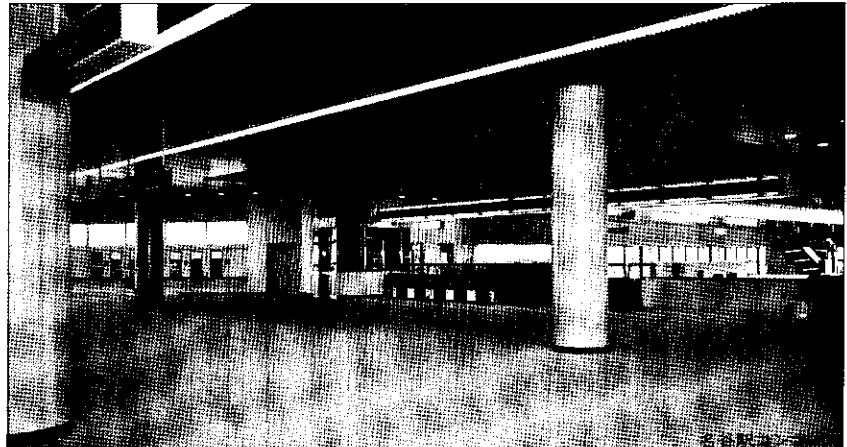
コンコースを入ると、建設工事をしのぶ「貫通石」と約1,500万年前と推定された「珪化木」
が目をひき、つづいて並ぶ福田喜美子作の現代
彫刻“Reflection”(神戸須磨ロータリークラブ
寄贈)との調和がおもしろい。

また、駅正面にはしゃれたバスターミナルも
完成、ニュータウンにふさわしい起点駅です。

名谷駅平面図

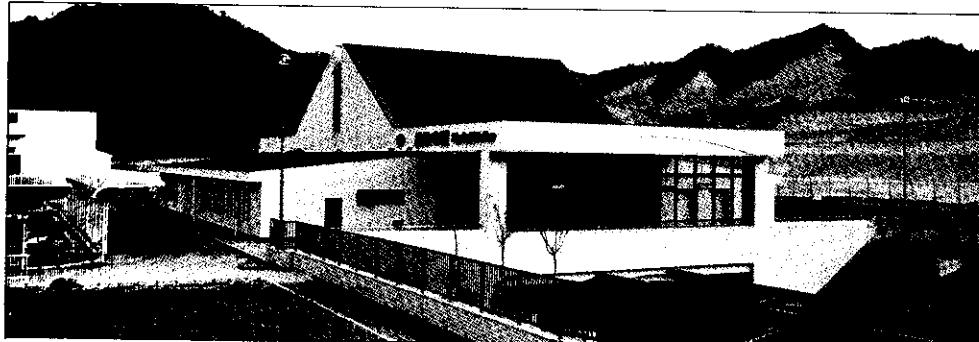


神戸市にとつて親しみ深い「楠公前」に立てられた市電の子時計。



妙法寺

幻想的な 「秋の駅」

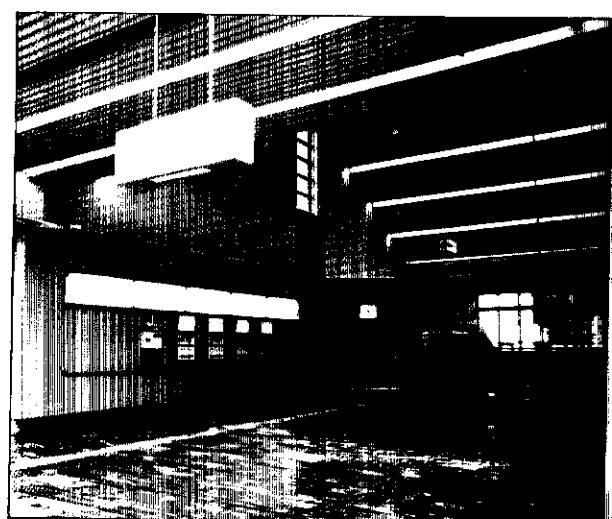
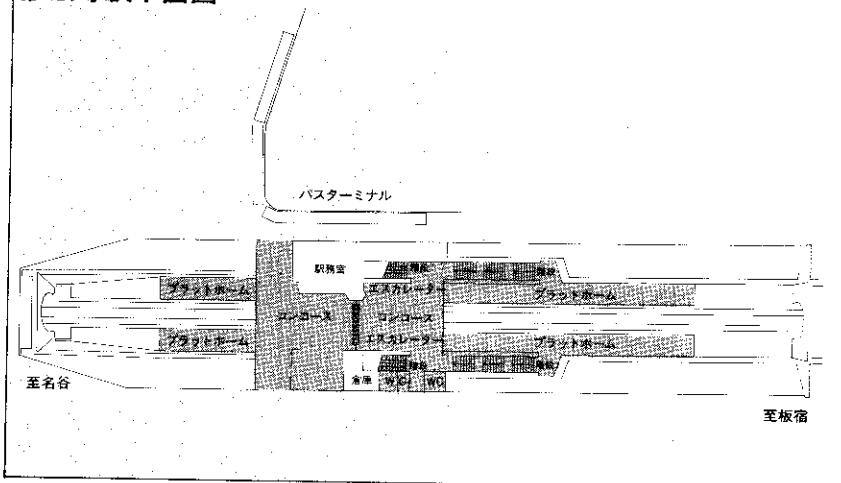


地下鉄には珍しい青空の見える駅です。落合・横尾両トンネルにはさまれた山あいの感じをそのままに、斜面には2,800本の紅葉樹が並び、カキ・クリ・カエデの陶板をあしらったホームのベンチは若いカップルに人気上昇中とか。

周囲の山に映える赤いとんがり屋根の山小屋風駅舎は、幻想的なおとぎの世界へ誘ってくれます。

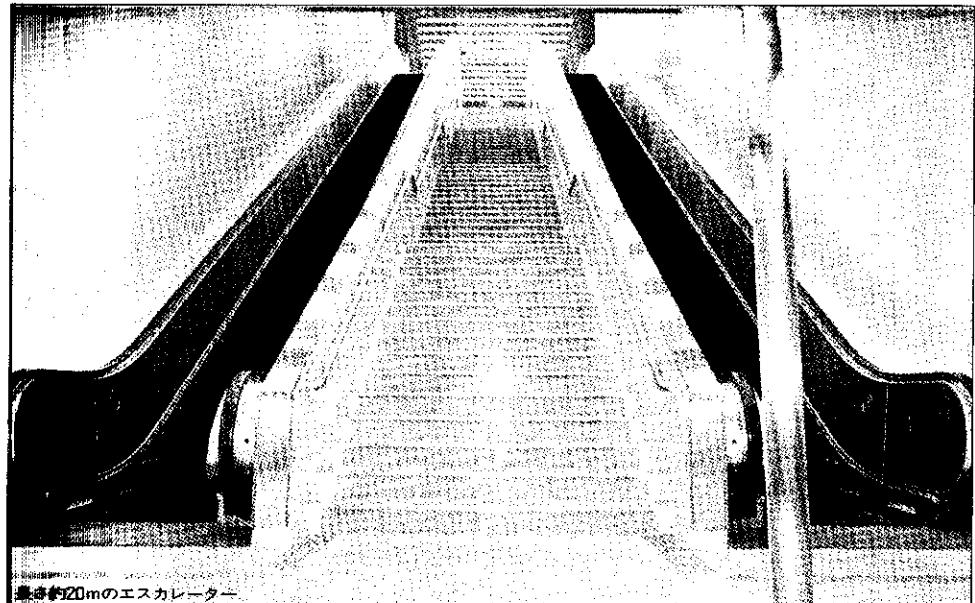
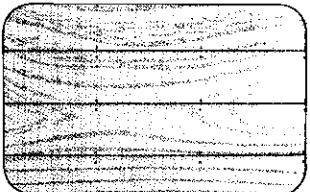


妙法寺駅平面図



板宿

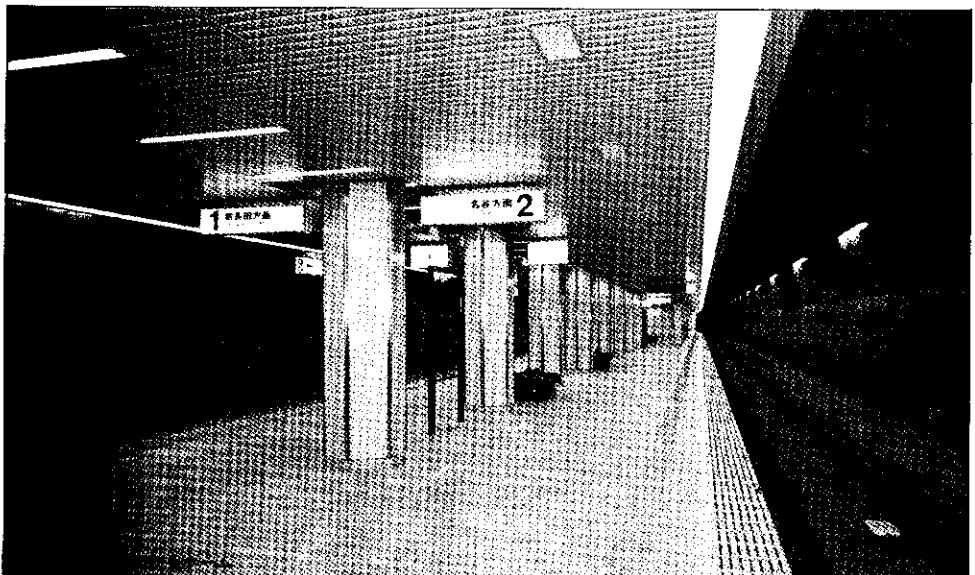
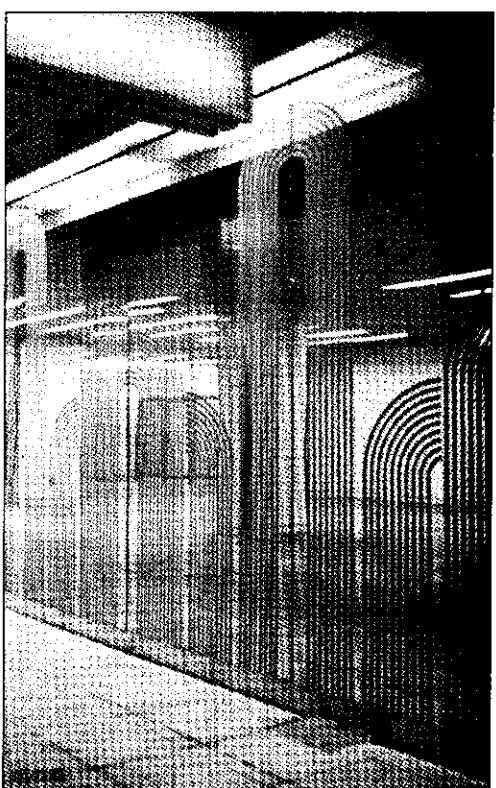
歴史をしのぶ “板の駅”



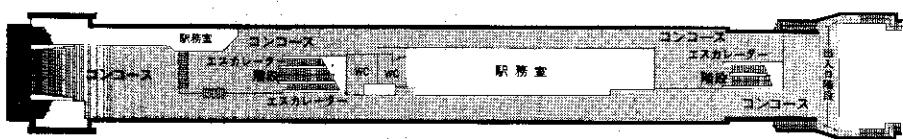
板宿—菅原道真公が筑紫に向われる途中、板の仮屋を一夜の宿とされたとか—こんな故話をしのびながら、近代的感覚を加味した地下駅を考えました。

まず、コンコース南北端のステンレスミラーに新緑の森と旭の森をエッチング。

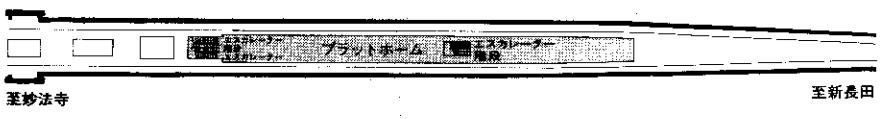
ホーム壁面はひと目で板宿と判る板の目をデザインしました。加えて、静かなムードをただよわせる通路、そしてホームには擬木ベンチが並んでいます。



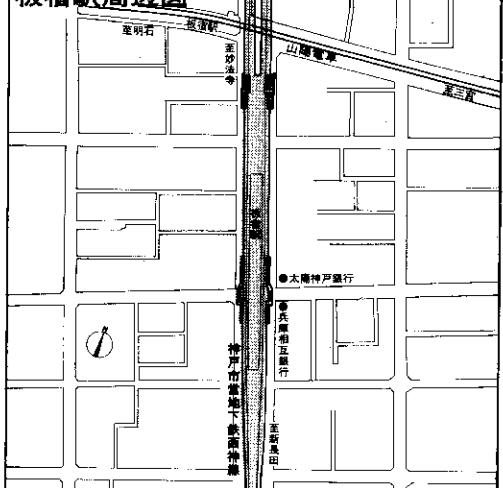
板宿駅地下1階平面図



板宿駅地下3階平面図

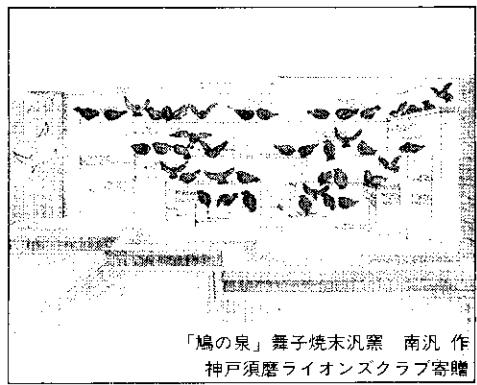
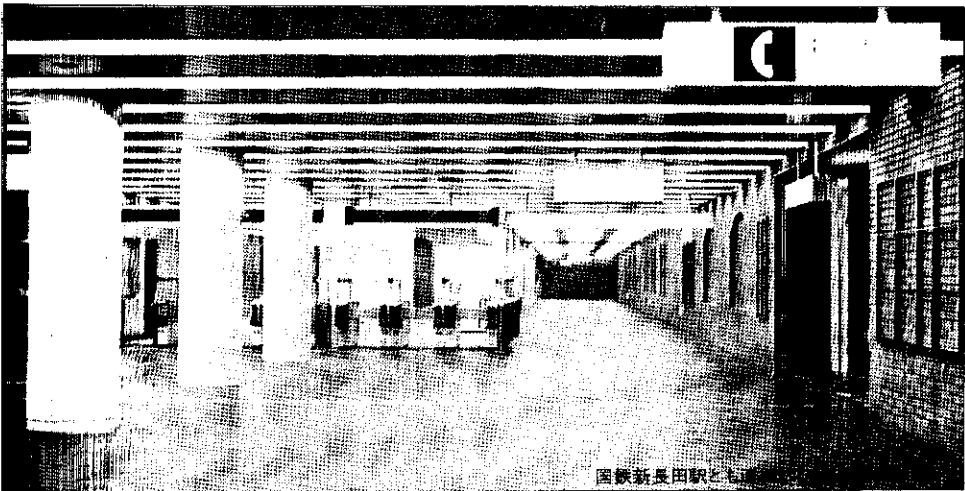
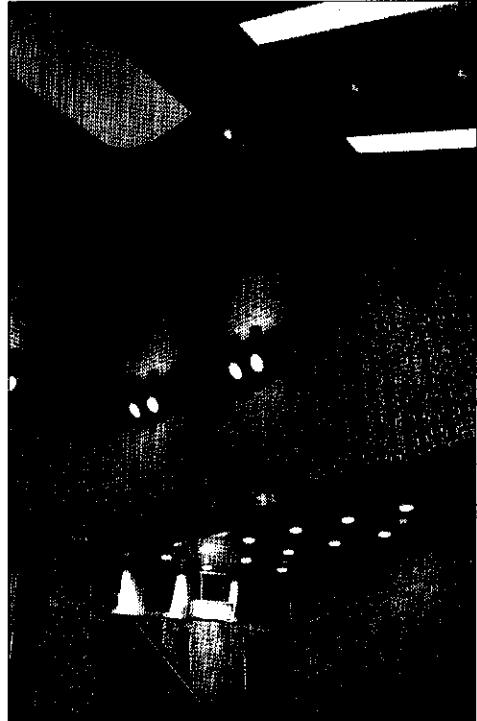


板宿駅周辺図



新長田

副都心繁栄を祝る “鳩の駅”



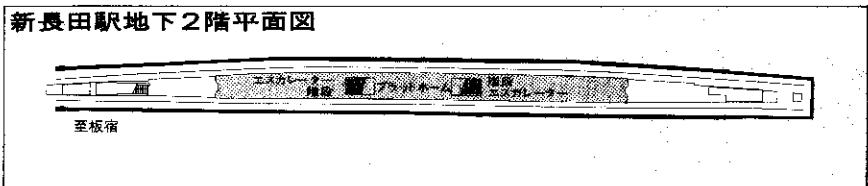
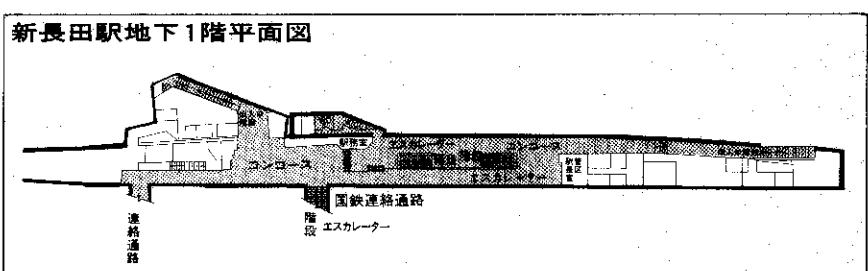
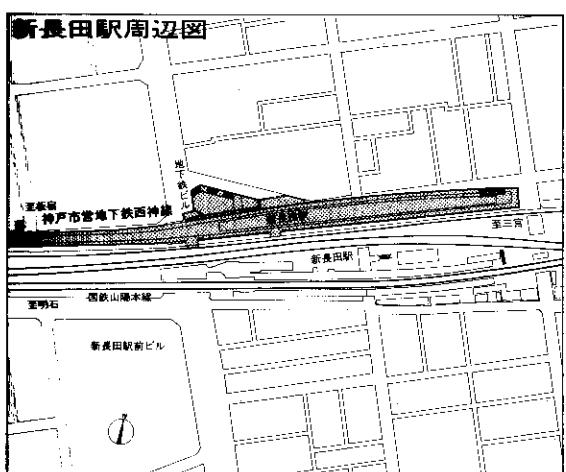
国鉄新長田駅

「鳩の泉」舞子焼末沢窯 南汎 作
神戸須磨ライオンズクラブ寄贈

未来に羽はたく西神戸副都心の繁栄を祝って新長田は“鳩の駅”としました。

ホーム壁面に喜々として舞う黄金色のハト100羽。コンコース正面には、湧き出る泉が安らぎを…、そして赤い鳩が水浴びしています。

地下の冷たさを感じさせないレンガタイルの壁面に、トップライトがやわらかくそそぎます。





営業案内

自動出改札システム

市営地下鉄西神線4駅は、きっぷの発売、出改札や乗り越し精算など、すべての業務を自動化しました。

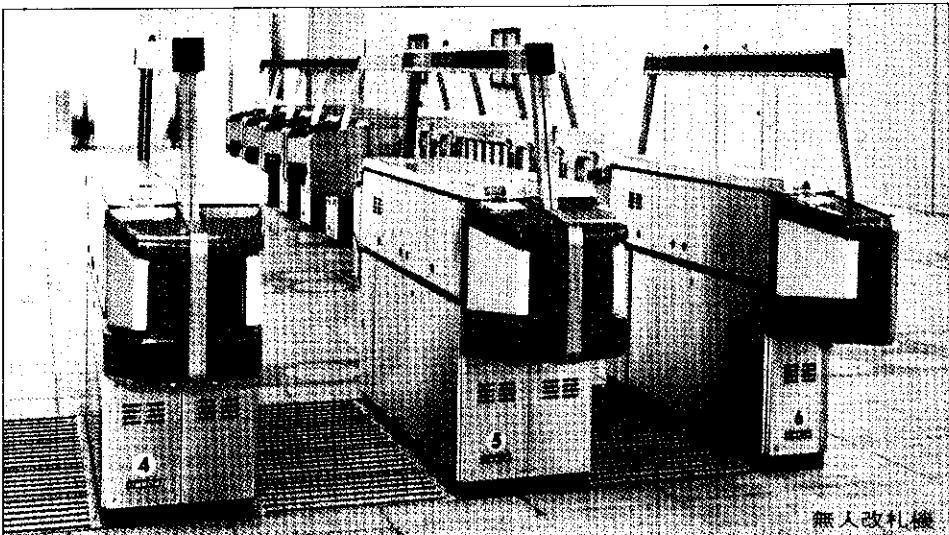
このような仕組みを“自動出改札システム”といい、自動券売機、自動精算機、紙幣両替機、データー処理装置、集中表示盤、自動改札機および定期券発行機で構成されています。

■運転間隔

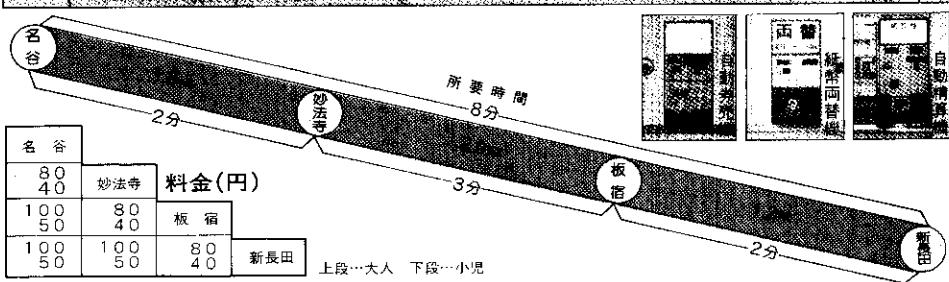
	平日	日・祝日
朝ラッシュ時	7.5分	
中間時	15分	
夕ラッシュ時	10分	

■始終発時刻

始発	終発	駅名	始発	終発
5:23	23:20	名谷	5:46(着)	23:48(着)
5:25	23:22	妙法寺	5:43	23:45
5:28	23:25	板宿	5:40	23:42
5:31(着)	23:28(着)	新長田	5:38	23:40

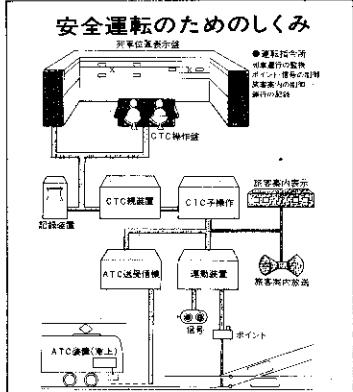
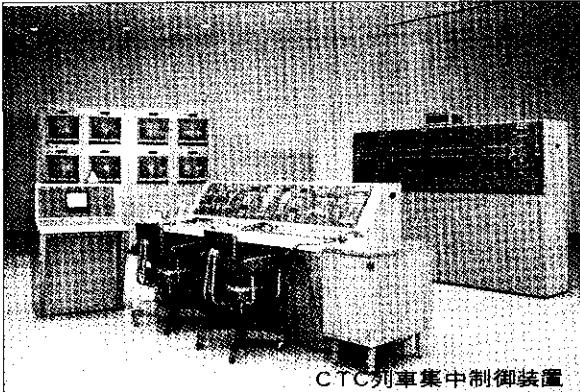


無人改札機



安全設備

トンネルの中を通過する地下鉄は、万一の事故に備えて、いろいろな安全設備を取り入れるなど、安心して乗っていただけるよう列車の安全運転に万全を期しております。



電気設備

地下鉄で使用する電力は、関西電力から7万7千ボルト2回線で受電しています。万一1回線に故障が生じても列車の運行に影響を与えないよう相互運用ができるようになっています。

また、変電所、電気室などは、電力指令所から一括遠隔制御されており、電力運用の安定化、省力化をめざしています。

